

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

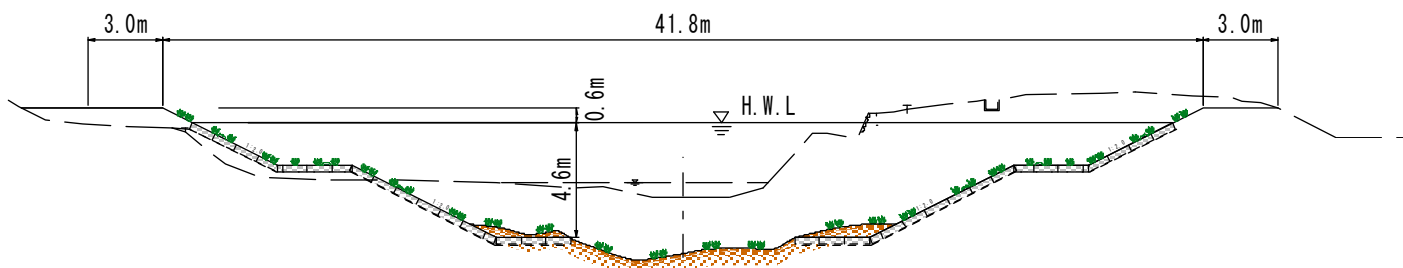
		番 号	104	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>みすぎがわ</small> 三杉川		事業箇所名	<small>さのし</small> 佐野市
事業区間	<small>さのしこえなちよう</small> 佐野市越名町地先～ <small>さのしせきがわちよう</small> 佐野市関川町地先		事業延長	4,150m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9 ~ H28) H9 ~ H26	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[1.8 (1.8)億円] 36.6 (39.9)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[1.7億円] 35.4億円
事業概要				
<p>三杉川は、栃木市<small>おのぐちちよう</small>小野口町（<small>てるいしさん</small>晃石山）を源とし、岩舟町<small>おのてら</small>小野寺地内を南流し、佐野市街地東部を経て渡良瀬川に合流する一級河川である。</p> <p>佐野市内の平地を流れる下流域については、流下能力の不足から浸水被害が生じている。</p> <p>また、佐野市、岩舟町にまたがる中流域についても、宅地や道路への浸水被害がたびたび発生している状況である。そこで、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
・右岸台地では、佐野新都市土地区画整備事業が概成し、大型ショッピングセンターほか中小規模店舗の進出、住宅建設が行われている。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C = 12.4	632.6億円	51.0億円	[L=4,150m 区間]
2) 残事業	B/C = 1.5	2.5億円	1.6億円	[L= 115m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長 4,150mのうち下流端から <small>つるまいばし</small> 鶴舞橋下流までの4,035m区間の整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
堰等の統廃合により工事費の縮減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間において、築堤工事が概成していることから、現行計画で事業を進めることが最適である。				
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



計画流量	165m ³ /s
現況流下能力	概ね50m ³ /s

概要図

